

専門分野

老年看護学

授業科目	老年看護学概論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	授業科目	老年看護学概論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者		
		1年次	1	30		佐藤舞菜見			2年次	1	15		佐藤舞菜見		
学習目標	1. 老年期にある人の身体的、心理社会的特徴を理解し、加齢変化が高齢者の生活に与える影響を理解できる。 2. 高齢者にとっての健康を目指し、生活を支えるための看護の役割を理解できる。 3. 「老い」を生きる高齢者の尊厳を守り、QOLを高めるための支援について考えることができる。						学習目標	高齢者の自立と権利を守り、生活を支えるための保健医療福祉制度を理解し、多職種連携の必要性と看護師の役割を学ぶ。 1. 超高齢者社会の現況と高齢者の暮らしについて理解できる。 2. 高齢者を支えるサポートシステムと多職種連携の必要性について理解し、看護師の役割を考えられる。							
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験
1	序 老年看護を学ぶ入り口 1. 老年看護の始まり 2. 超高齢社会の現況 3. 老いへのイメージ					講義	佐藤舞菜見 教員 実務経験:有	1	1. 高齢社会の統計的輪郭 1) わが国の高齢化 高齢人口の推移、性差、地域格差 2) 高齢者のいる世帯 3) 高齢者の健康状態 4) 高齢者の暮らし 経済状態、住まい、就業					講義	佐伯 裕一 保健師 実務経験:有
2	Ⅰ. 老年期の理解 1. 高齢者の定義 2. 加齢と老化 3. 加齢に伴う身体的変化の特徴 4. 高齢者の疾患の特徴							2	2. 高齢社会における保健医療福祉の動向						
3	Ⅱ. 高齢者の加齢変化と日常生活への影響 1. 加齢に伴う外観の変化							3	1) 高齢者とソーシャルサポート 2) 保険医療福祉制度の変遷と保健医療福祉システムの構築						
4	2. 各感覚器の変化							4	①老人医療費 ②介護保険制度 ③高齢者医療の新しいしくみ						
5	3. 呼吸器系・循環器系の変化							5	3) 高齢者を支える職種と看護活動の多様化						
6	4. 消化器系の変化 PEM							6	3. 保健医療福祉施設における多職種連携と看護の役割						
7	5. 泌尿生殖器とホルモン分泌の変化							7	1) 施設の種類と特徴						
8	・脱水							8	2) 療養生活に求められる看護の役割						
9	6. 運動器系(筋・骨格・関節・神経)の変化 ・ロコモティブシンドローム ・サルコペニア ・フレイル							9	3) 多職種間の連携						
10	7. 高齢者体験							10	4. 高齢者の権利擁護 高齢者虐待、身体拘束 権利擁護のための制度						
11	Ⅲ. 加齢による心理・社会的変化 老年期の発達課題							11	試験						
12	Ⅳ. 老年期を生きる人々の健康							12							
13	Ⅴ. 高齢者の権利擁護							13							
14	Ⅵ. 老年看護の看護目標と役割							14							
15	試験							15							
テキスト	老年看護学/医学書院						テキスト	老年看護学/医学書院 国民衛生の動向							
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験							
先修条件	なし						先修条件	老年看護学概論Ⅰの履修							

専門分野

老年看護学

授業科目	老年看護学 援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者 佐藤舞菜見	授業科目	老年看護学 援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者 佐藤舞菜見
		2年次	1	30					2年次	1	30		
学習目標	健康障害のある高齢者とその家族への看護展開を学ぶことができる。 1. 疾病・障がいをもつ高齢者の特徴を理解できる。 2. 治療を受ける高齢者の経過に合わせた看護を理解できる。 3. 高齢者特有の看護問題を理解し、高齢者の生活とセルフケアを支援するための看護活動を理解できる。						学習目標	高齢者の特徴をふまえ、健康障害に応じた看護を理解できる。 1. 生活機能を整えるための看護を理解できる。 2. 主要状態にある高齢者のアセスメントと看護を理解できる。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	1. 疾病・障がいを持つ高齢者の理解と老年看護の展開				講義	佐藤舞菜見 教員 実務経験:有 【試験配点】 演習: 60点	1	I. 生活機能を整える看護				講義	和淵ゆかり 看護師 帯広厚生病院 認知症看護 認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 20点
2	1) 老年看護の役割						2	1. 日常生活を支える基本動作と看護ケア 1) 日常生活活動の評価					
3	2) 老年看護における倫理						3	2) 転倒アセスメントと看護ケア					
4	3) 高齢者のヘルスアセスメント						4	3) 廃用症候群のアセスメントと看護ケア 4) 症候のアセスメントと看護: 痛み					
5	4) 経過別にみた老年看護 ①急性期における看護 ②慢性期における看護				演習		5	2. コミュニケーションのアセスメントとケア 老人性難聴、失語症、構音障害					
6	2. 老年看護実践演習						6	3. 食事・食生活 1) 高齢者における食生活の意義				講義	飯島 大輝 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 50点
7	1) 導入: オリエンテーション 患者紹介: 心不全患者の事例						7	2) 高齢者の食生活のアセスメント ①食事環境 ②摂食・嚥下過程 5期モデル ③栄養状態: たんぱく質・エネルギー 低栄養状態(PEM)					
8	2) 看護過程の展開						8	3) 食事環境の調整と食事のケア ①食事前・中・後のケアと多職種協働 ②食事の環境調整と誤嚥予防 ③摂食嚥下リハビリテーション					
9	①事前学習: 心不全の病態・治療経過別看護						9	4. 排泄 1) 高齢者の尊厳を守る排泄ケア ①排泄行動のプロセスと排泄リズム					
10	②基礎情報: 経過と看護方針の理解						10	②排泄のアセスメントと自助具の活用					
11	③アセスメント						11	③失禁へのケア					
12	④看護診断と看護計画						12	④排便障害: 便秘					
13	3) 解説: 患者理解と看護の展開						13	5. 清潔 1) 高齢者の皮膚のアセスメントとケア ①褥瘡、スキンテア ②乾燥・痒みと清潔ケア					
14	4) 看護実践演習: 心不全患者の事例 ①オリエンテーション ②行動計画立案 ③援助の実施: 食事指導 ④振り返りとまとめ						シミュレーション	14	6. 生活リズム 1) 高齢者と生活リズム ①生活リズムの変調とアセスメント ②昼間のケア・夜間のケア				
15	3. 治療を受ける高齢者の看護				講義	高橋亜由美 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 30点	15	II. 認知機能の障害に対する看護ケア					
16	1) 検査を受ける高齢者の看護				16	1) 高齢者のうつ							
17	2) 薬物療法を受ける高齢者の看護				17	2) せん妄							
18	3) 手術療法を受ける高齢者の看護				18	3) 認知症 定義、基本構造、診断、治療 予防、評価、看護ケアの実際							
19	4) リハビリテーションを受ける高齢者の看護				19	試験							
20	4. エンドオブライフケア				講義	小田島綾子 看護師 帯広厚生病院 がん看護専門 看護師 緩和ケア認定 看護師 実務経験:有 【試験配点】 10点	20	試験					
21	1) 高齢者の死				講義		21	テキスト 老年看護学/医学書院 その他参考資料					
22	2) 身体徴候の観察と予測的な援助						22	評価方法 筆記試験					
23	3) 合意形成 アドバンスディレクティブ リビングウィル						23	先修条件 老年看護学概論Ⅰの履修					
24	4) 家族への援助						24	先修条件 老年看護学概論Ⅰの履修					